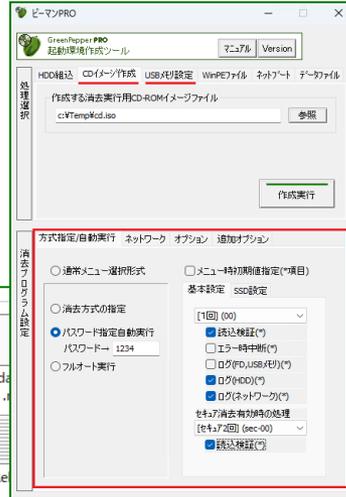


推奨「消去プログラム設定」例ーCDイメージ/USBメモリ

[GreenPepper PRO] Tutorials

1

ダウンロード後解凍したフォルダ、または、製品CDメディアから、直接“gpset4.exe”をダブルクリックして、プログラムを起動します。
* “gpdata.pac”が、同じフォルダに必要です。



パスワード指定自動実行:

起動直後、パスワード入力画面が表示されます。
正しいパスワードを入力すると、自動的に消去処理が始まります。
 (“1234”は例です。任意の値を指定できます。)

ログ書き込み: ログ(HDD), ログ(ネットワーク), ログ(FD,USBメモリ)/※USBメモリ使用時

消去方式: [基本設定] 1回ー検証

セキュア消去が可能な時/SecureErase-00-検証

[SSD設定] SSDの場合こちらの方式

4回ー検証 セキュア消去が可能な時/SecureErase-00-検証

ネットワーク: 設定内容は1例、環境に合わせて指定が必要

[ログの書き込みにネットワークを使用する] 有効

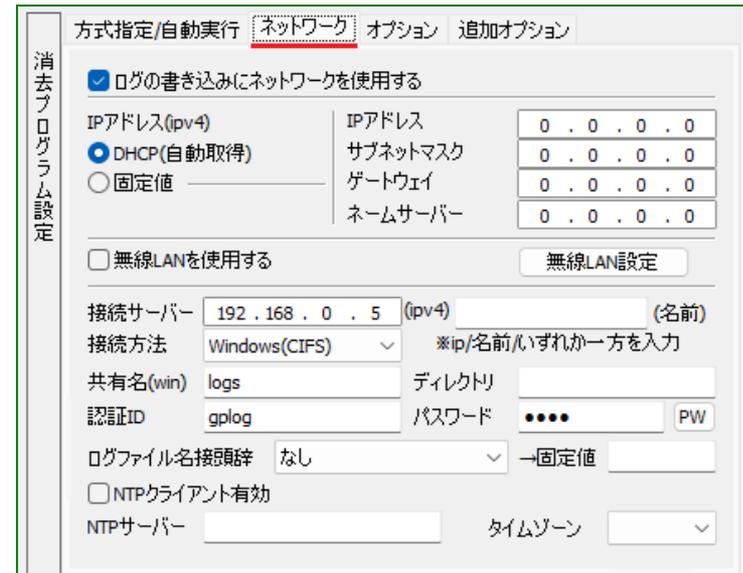
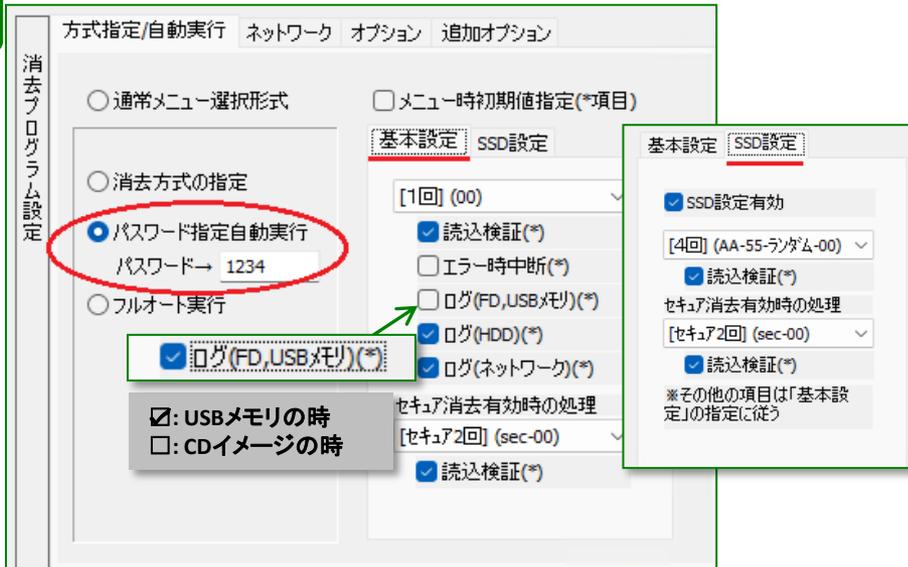
[IP アドレス]: DHCP [接続サーバー]: IサーバーのIPアドレス

[接続方法]: Windows(CIFS) [共有名]: Windows 共有名

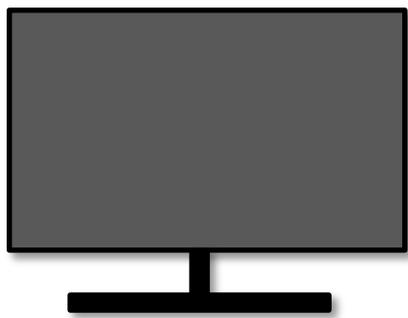
[認証ID/パスワード]: Windows共有にアクセスするための

認証ID/パスワード(書き込み権限が必要)

2



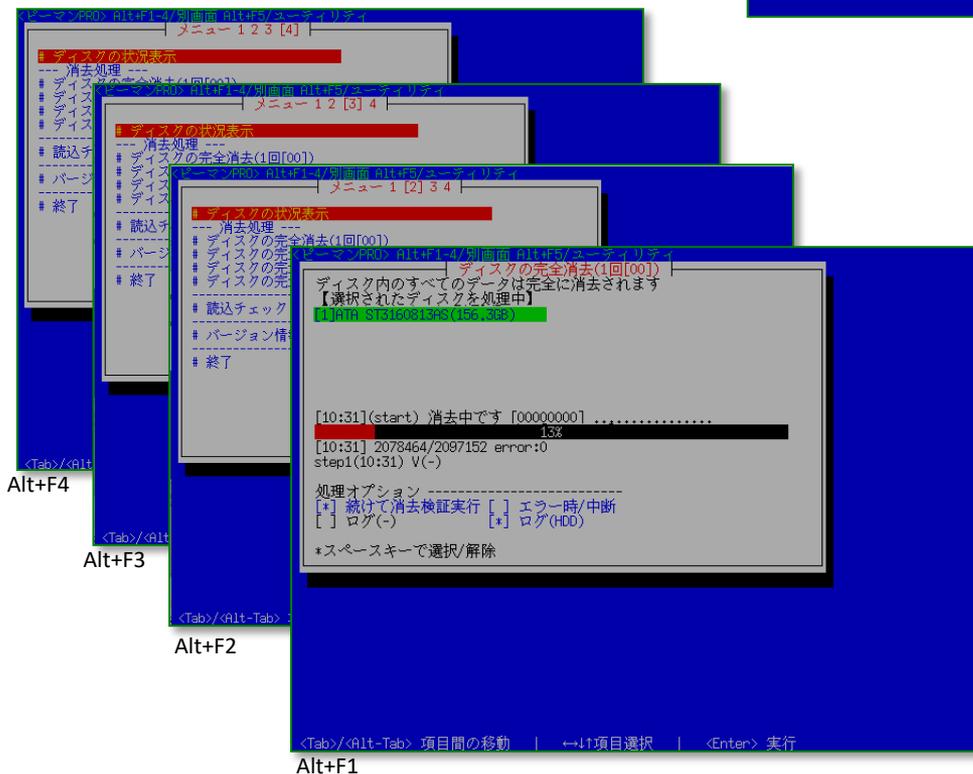
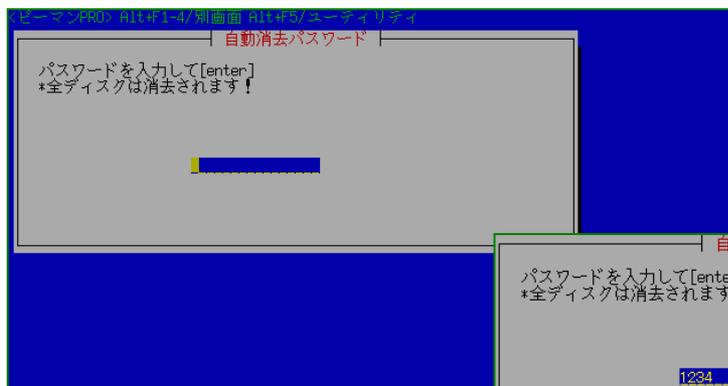
3



前頁で指定したオプションで作成したCD、USBメモリを使用してPCを起動すると、以下の様に動作します。

4

起動後、以下のパスワード入力画面が表示されます。全画面で設定した“1234”を入力し[enter]を押すと、自動的に消去処理が始まります。



5

消去方式は以下の順に判定され決定されます。

1. **SSDでセキュア消去が実行可能**
-> SecureErase-00-検証
2. **他SSDの場合**
-> 4回消去-検証
3. **SSD以外(HDD)でセキュア消去が実行可能**
-> SecureErase-00-検証
4. **他**
-> 1回消去-検証

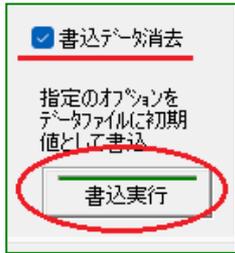
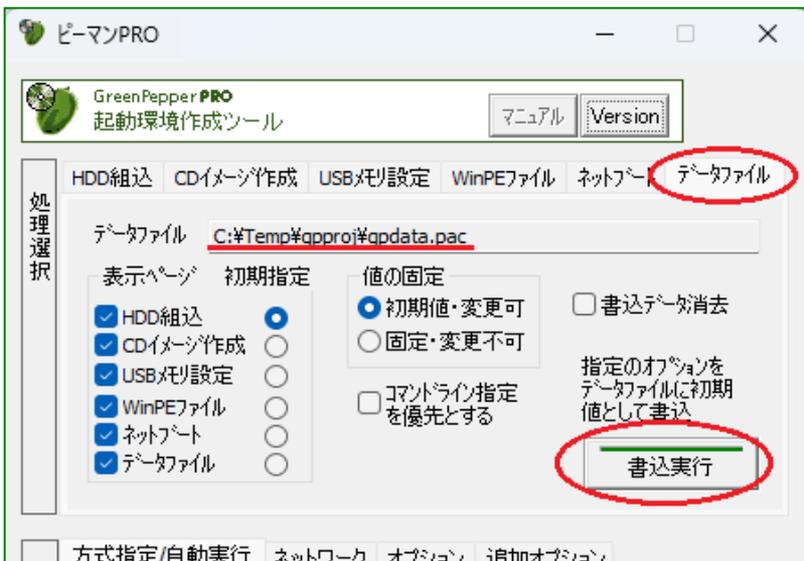
ログ書き込みの指定も、設定した値がセットされます。

消去の画面は4画面あり、それぞれの画面で別のディスクを同時に消去可能です。自動実行の場合は、別画面を使って4台までのディスクが同時に、自動消去されます。画面の切り替えは、Alt+F1, Alt+F2, Alt+F3, Alt+F4 キーです。画面切り替えは処理中でも可能です。

6

付加機能として、“gpset4.exe”に設定した値を、データファイル(gpdata.pac)に保管する機能があります。
 「データファイル」タブ(ページ)において、「書込実行」をクリックすることで、値が書き込まれます。次回“gpset4.exe”を起動すると、保存された値が読み込まれ、初期値、または、固定値として設定されます。

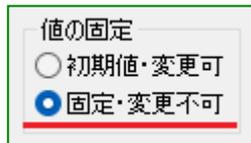
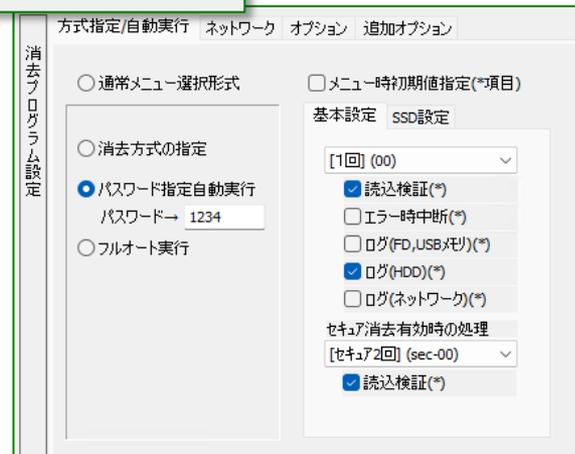
この機能は、毎回値を設定するという手間を省くだけでなく、設定値を保存したデータファイルを配布することで、社内・組織内で統一された方法で消去を行うための機能となります。



「書き込データ消去」をチェックして「書込実行」することで、保存した値を消去することができます。



初期値・変更可
 初期値として設定され変更が可能です。



固定・変更不可
 固定値として設定され変更は不可です。

